

////////////////////////////////////
飯島町生涯学習推進計画パート5
////////////////////////////////////



平成 30 年 3 月

飯 島 町

飯島町生涯学習推進計画パート5 目次

第1章	計画策定の基本的考え方	3
第2章	計画の基本理念	4
第3章	基本目標と施策の展開	5
	基本目標1 生涯学習推進体制の充実	5
	(1) 生涯学習推進本部	
	(2) 生涯学習推進協議会（社会教育委員会議）	
	(3) 生涯学習センター	
	基本目標2 生涯学習関連施設・組織の連携	7
	(1) 公民館を拠点とした地域活動の充実	
	(2) 地域における施設・機関の連携	
	(3) 地域団体・NPOなどとの連携	
	(4) 広域的な生涯学習機関との連携	
	基本目標3 学習情報提供と相談体制の整備	9
	(1) 学習情報の発信と提供	
	(2) 学習相談体制の整備	
	基本目標4 人材の育成とグループ活動の支援	10
	(1) 人材の育成	
	(2) 人材ネットワークの登録促進と活用	
	(3) グループ活動の支援	
	基本目標5 学習プログラムの開発と学習メニューづくり	11
	(1) 学習プログラムの開発	
	(2) 学習メニューづくり	
第4章	施策の推進機関と役割	12
	1 行政及び生涯学習センター	2 公民館
	3 図書館	4 歴史民俗資料館
	5 文化館	6 生涯スポーツ
	7 学校	8 町民に期待される役割
第5章	計画の体系表	15
資料1	計画策定経過	17
資料2	飯島町社会教育委員会議（飯島町生涯学習推進協議会）名簿	18

第1章 計画策定の基本的考え方

1 計画策定の趣旨

本計画は、飯島町が町ぐるみで生涯学習を推進するために策定する計画です。

平成10年に「飯島町生涯学習まちづくり構想」に基づく「飯島町生涯学習まちづくり計画」が策定されて以来、5年ごとに改訂が続けられてきました。今回は、平成25年3月に策定した「飯島町生涯学習推進計画～生涯学習まちづくり計画パート4～」を見直して次期5ヶ年間の指針とします。

生涯学習とは、人々が、生涯にわたって、必要に応じ自発的に行う自由で広範な学習のことで、学校や社会の中で行われる意図的・組織的な学習活動のほか、スポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動など幅広く多様に捉えられています。そうした生涯学習による学びは、楽しい日常生活をもたらすことはもちろん、課題の発見や解決に役立ちます。また、様々な人とかかわる学習活動は、その成果が地域に生かされることで地域の活力が高まることにつながります。

行政や各機関が連携して生涯学習を推進するとともに、住民グループや個人が積極的に参加したり、自発的に活動したりすることを期待して本計画を策定しました。

2 計画の位置づけ

本計画は、「飯島町第5次総合計画」及び「飯島町教育大綱」に対応する生涯学習・社会教育分野の個別計画として位置づけ、今後の生涯学習推進のために必要な具体的施策を推進するための計画とします。

3 計画の期間

本計画は、平成30年度（2018年度）から5年間を対象期間とします。

なお、期間内であっても、新たに盛り込むべき事項が生じた場合などには必要に応じて計画を見直します。

第2章 計画の基本理念

少子化・長寿化や人口減少、情報化の進展といった社会の変化や、個人の価値観・趣味の多様化などは、飯島町全体の生涯学習活動にも影響しています。とりわけ情報通信技術の発展や人工知能などの技術革新は、これまで以上の速度で私たちのライフスタイルを変えていきます。先の見えない未来を切り開き、答えのない問題を解くため、人生のあらゆる段階での学びが、ますます必要となってきます。

他方で、大地震や異常気象による災害への危機感などから、身近な地域コミュニティの重要性が見直されてきています。学びを通じて人と人がつながり、交流が深まることが期待されるとともに、地域に愛着を持つことや、地域の担い手となる人材育成も求められています。

そこで、本計画では次の4つの基本理念を掲げます。

- ① 一人ひとりが、学びや活動によって自らの課題を自らの手で解決する力を高める生涯学習を進めます。
- ② 学びや活動を支援する環境を整備します。
- ③ 学習の成果が地域で生かされる町をつくります。
- ④ 生涯学習によってふるさとへの愛着と誇りを育みます。

第3章 基本施策と目標

基本目標 1 生涯学習推進体制の充実

◎目指す5年後の姿

飯島町生涯学習センターが中心となって、全町的な生涯学習活動や講座が積極的に進められています。

(1) 生涯学習推進本部

現 状

- 町長を本部長、副町長・教育長を副本部長とし、課長職で構成される組織です。

施策の展開

- 生涯学習推進施策を総合的に企画・調整します。
- 住民の自主的な学習活動や学習成果を生かした活動を支援します。

(2) 生涯学習推進協議会（社会教育委員会議）

現 状

- 飯島町の特性を生かし、住民参加の生涯学習の町づくりを総合的に推進するために協議会が設置されており、委員は社会教育委員が兼ねています。

施策の展開

- 地域全体の課題に基づく学習機会や学習ニーズを点検し、町の特性を生かした生涯学習の推進・支援目標や計画づくりを進めます。
- 飯島町の豊富な学習資源を生かせる環境整備を研究します。
- 関連機関と連携を取りながら、生涯学習推進の研究を進めます。

(3) 生涯学習センター

現 状

- 飯島町生涯学習センターは、それまでの中央公民館を廃止して平成23年4月にスタートし、町全体の生涯学習推進の中核機関と位置づけられています。地域の公民館こそが地域住民のよりどころであり、生涯学習センターはその活動を支援する立場と明確化されました。
- 運営委員は社会教育委員が兼ねています。
- 教育次長がセンター長を兼ね、社会教育指導員2名のほか、生涯学習係の職員が兼務で講座や事業を運営しています。

施策の展開

- 生涯学習の総合的な推進・支援を行います。
- 生涯学習施設の連携を図ります。
- 生涯学習情報を発信・提供し、普及・啓発を行います。
- 生涯学習の総合的な相談活動を行います。
- 生涯学習活動の指導者の育成及び団体活動の支援を行います。
- 学習プログラム（講座等）の開発を行います。
- 公民館活動の支援及び連絡調整を行います。
- 地域学習の題材や地域人材の紹介など学校支援を進めます。
- 住民の地域づくり参画を支援します。
- 全町的な学習機会の提供を行います。

基本目標 2 生涯学習関連施設・組織の連携

◎目指す 5 年後の姿

各公民館が活発に事業や講座を展開するとともに、図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設などでの活動が充実し、各機関の連携が図られています。

(1) 公民館を拠点とした地域活動の充実

現 状

- 公民館が 4 地区ごとにあり、それぞれ地区にあった活動を行っています。
- 館長・主事をはじめとした役員は地区から選出され、仕事を持ちながら公民館活動に携わっています。
- 町の嘱託職員として地区内から選出された「地域づくり支援員」が配置され、地域づくり委員会の仕事とともに公民館活動にかかわっています。

施策の展開

- 地域における生涯学習関連拠点施設を公民館とします。
- 常時開設化や事業の工夫などにより、地域住民が気軽に集う公民館とします。

(2) 地域における施設・機関の連携

現 状

- 公民館以外の社会教育施設として、図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設があり、個人やグループによる学習活動に利用されています。
- 図書館では独自の講座が企画運営されているほか、歴史民俗資料館では生涯学習センターと共催の講座が開催されています。
- 行政機関内には子育てや保健医療、高齢者福祉などの講座を積極的に開催している部署があるほか、「生き粹出前講座」として町政など 46 の講座メニューが用意されています。

施策の展開

- 各施設の機能を柔軟に活用し合い、補い合う生涯学習関連施設の充実と学習サービスの向上を図ります。
- 各々の施設等の職員や器材、把握する人材・情報等を共有し多様な学習機会を提供します。
- 受講者・学級生等の募集を共同して行い、学習者層の拡大を図ります。

- 様々な施設の事業の連携により、学習者の学習成果活用場の拡大を図ります。
- 生涯学習関連施設の利用手続きの利便化・簡素化等について共同で研究します。
- 施設ボランティアの育成を図り、その活動を支援します。

(3) 地域団体・NPOなどとの連携

現 状

- 文化団体として登録している団体が町内で 65 団体活動しています。
- 文化団体の発表の場としていいちゃん文化祭が催されています。

施策の展開

- 生涯学習センターが中心となり各団体の相互連携を図ります。
- 発表や交流の場をつくります。
- 情報交換や課題を話し合う交流の場を設けます。

(4) 広域的な生涯学習機関との連携

現 状

- 生涯学習センターと 4 公民館は、伊南や上伊那、県の公民館事業や研修会に参加しています。
- 平成 29 年度、長野県生涯学習センターの講座を町内で開催しました。
- 研修会や講座の内容によっては、大学などへ講師の派遣を依頼しています。

施策の展開

- 近隣市町村の社会教育、生涯学習関連施設と連携し、学習機会の提供などの研究を進めます。
- 高等学校・短大・大学等と連携した学習機会の提供や学習のメニューづくりの研究を進めます。

基本目標 3 学習情報提供と相談体制の整備

◎目指す 5 年後の姿

各機関が実施する生涯学習事業の情報が一元化されて提供されているとともに、住民が学習内容や指導者などを気軽に相談できる体制が整っています。

(1) 学習情報の発信と提供

現 状

- 生涯学習センター「学級・講座のご案内」を全戸配布するほか、町のホームページに掲載しています。健康福祉課が主催する講座と裏表 1 枚の掲載とするように努めています。
- 上記の全戸配布に合わせ、CATV 行政チャンネルで学級・講座を紹介する番組を放送しています。

施策の展開

- 生涯学習センターを中心に、生涯学習情報を一元化して発信・提供を行うとともに、情報交換を進めます。
- 広報、町のホームページ、CATV、チラシ等を活用し情報発信・提供を行います。
- 生涯学習センターをはじめ、まちの駅や道の駅など人の集まる場所にチラシを配置します。

(2) 学習相談体制の整備

現 状

- 図書館にはさまざまな学習内容の相談が寄せられ、対応しています。夏休み期間中には児童生徒向けに「なんでも相談会 in まちとしょ」を開催しています。
- 歴史民俗資料館では主に町の歴史に関する質問に対応しています。近年は、電話や来館による相談ばかりでなく、町外から Eメールでの相談が増えています。
- 指導者の情報を「飯島町人材ネットワーク」台帳に整備し、人材を紹介しています。

施策の展開

- 生涯学習センター内に相談窓口を設置し、総合的な相談体制を整備します。
- 図書館では生涯学習関連資料の充実に努めるとともに提供を行います。
- 生涯学習センターは地域での生涯学習を支援します。

基本目標 4 人材の育成とグループ活動の支援

◎目指す 5 年後の姿

指導者やボランティアの情報が整備され活用されていて、住民の自主的な活動や地域の生涯学習事業が多彩に行われています。

(1) 人材の育成

現 状

- 公民館の役職員を対象にした研修会を年 1 回開催しています。

施策の展開

- 生涯学習センターを中心に、生涯学習の指導者の養成・研修活動を行い人材の育成を図ります。

(2) 人材ネットワークの登録促進と活用

現 状

- さまざまな分野の名人や達人を発掘して指導者やボランティアとして登録してもらい、生涯学習のネットワークづくりをすることを目的に「飯島町人材ネットワーク」の台帳が整備されています。
- 台帳への登録は随時受け付けており、登録情報は 3 年ごとに更新しています（平成 29 年 11 月現在 64 人が登録）。

施策の展開

- 「飯島町人材ネットワーク」への登録を進めます。指導者だけでなく、ボランティアや、町の生涯学習活動に協力いただける町外の指導者も登録することとします。
- 人材の情報を生涯学習関連機関で共有するとともに、必要な文化団体に提供し、人材活用の促進に努めます。

(3) グループ活動の支援

現 状

- 登録された文化団体には飯島町文化館の使用料を 50%減免しています。
- 文化団体の発表の場として「いいちゃん文化祭」が催されています。

施策の展開

- 各機関、施設等が連携しながらグループ・サークルの育成を図ります。

基本目標 5 学習プログラム開発と学習メニューづくり

◎目指す 5 年後の姿

現代課題や地域課題を踏まえるとともに、町民が学びたいと思うテーマを先取りして講座が開催され、多くの受講者を集めています。

(1) 学習プログラムの開発

現 状

- 生涯学習センター主催で囲碁ボール大会やノルディックウォーク体験会、スラックライン講座などを催し、だれでも気軽に取り組めるニュースポーツが地域や個人に普及してきました。
- 生涯学習センターでは、地域の自然を学ぶ講座や、史跡を知る体験講座などを開催してきました。

施策の展開

- 生涯学習センターで、学習プログラムの研究・開発を進めます。
- 町の豊かな学習資源を生かし、各関係機関と連携して魅力あるプログラムづくりを進めます。
- 専門的な研修に参加したり、各機関、施設等と連携しながら学習プログラムの開発を行います。
- 生涯学習センターは、研修会や相談事業を通じて、学習者やグループでのプログラムづくりを支援します。

(2) 学習メニューづくり

現 状

- 生涯学習センターでは、平成 28 年度、家庭教育 1、女性教育 1、成人教育 10、高齢者教育 1 の講座を開催したほか、人権同和の出前講座を 5 回開催しました。

施策の展開

- 各機関や施設を有効に活用し、地域や伝統を学ぶ多様な学習メニューづくりを行います。
- 各年代層のニーズを把握した多様な学習メニューづくりを行います。
- 高校・短大・大学などとの連携研究を生かした学習メニューづくりを行います。

第4章 施策の推進体制と役割

1 行政及び生涯学習センター

基本的な方向	施策の展開
教育委員会・生涯学習センターを中心に、各部署の連携を図り、生涯学習推進のための施策を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ① 生涯学習推進本部は、生涯学習のまちづくりに関する施策を総合的に推進します。 ② 住民が行う生涯学習を支援するため関係部署相互の総合調整を図ります。 ③ 生涯学習センターは、総合的な生涯学習の推進・支援を行います。

2 公民館

基本的な方向	施策の展開
地域住民のよりどころとなる施設として、地域の課題に根ざした生涯学習事業を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ① 公民館を地域における生涯学習関連拠点施設とし、常時開設化や事業の工夫などにより、地域住民が気軽に集まれる核となる施設とします。 ② 安らぎの場として、自由に集まり、人と交わるような、地域住民が心をつなげて楽しめる居場所づくりを目指します。 ③ 一般を対象とした学習活動の支援はもちろん、家庭教育の支援や子どもの生きる力を育む体験活動・ボランティア活動の支援、地域の現代的課題に対応した学習機会の充実を図ります。 ④ 人材育成やグループ・サークルの育成のための活動を支援します。 ⑤ 地域づくり支援員と連携し地域の活性化を進めます。

3 図書館

基本的な方向	施策の展開
多様化し高度化する住民の生涯学習活動に必要な情報発信や資料提供機関として位置付け、整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者の声を運営や選書などに生かす取り組みを進めます。 ② 「飯島町子ども読書活動推進計画」に基づき、子ども読書活動の推進を図ります。 ③ ブックスタート事業をサードブックまで充実し、幼児の時代から生涯にわたり読書に親しむ環境を整備します。 ④ 町図書館、公民館図書室、学校図書館が連携した体制づくりを進めます。 ⑤ 生涯学習に役立つ図書資料の収集を計画的に進めます。 ⑥ 地域資料を積極的に収集します。 ⑦ 調べもの、探しもののお手伝いを充実します。

4 歴史民俗資料館

基本的な方向	施策の展開
<p>ふるさと学習の拠点施設として位置づけ、博物館活動を行います。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 継続的な利用ができるよう、住民参加の展示・体験活動の充実を図ります。 ② 子どもの郷土愛を育むため、学校と連携を取りながら、歴史民俗資料館を活用した学習支援を進めます。 ③ 地域への資料貸し出しや出前講座等の学習支援を行います。 ④ 地域の住民が積極的に文化財にかかわれるよう、ボランティアによる運営参加を進めます。 ⑤ 町内文化財めぐりなどを計画的に行うとともに、文化財マップを活用し、住民の学習支援を図ります。 ⑥ 歴史を学ぶ団体や、文化財を活かす活動、伝統文化を継承する活動を行うグループ・サークルを支援します。 ⑦ 地域の資源を連携させ、地域全体のあるがままの姿を総合的に残したり、保存、育成したりするための研究を進めます。

5 文化館

基本的な方向	施策の展開
<p>住民の文化活動を支援し、文化の創造・発信の拠点として位置付けます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 文化館は、住民が利用しやすい施設を目指します。 ② いいじま文化サロンを中心に、心を豊かにし、感性を高める文化事業を開催します。

6 生涯スポーツ施設

基本的な方向	施策の展開
<p>誰もが生涯にわたってスポーツを楽しみ、心身の健康増進を図れるよう、生涯スポーツの推進を図ります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 「飯島町スポーツ推進計画」の推進を図ります。 ② スポーツ関連団体が連携して生涯スポーツを推進します。 ③ 少年スポーツの活動を支援します。 ④ スポーツクラブ・サークルの活動を支援します。 ⑤ 「飯島町総合型スポーツクラブ」と連携し、生涯スポーツの推進を図ります。 ⑥ 誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及に努めます。 ⑦ 施設・備品を適切に管理し、住民が利用しやすい環境をつくります。

7 学 校

基本的な方向	施策の展開
<p>学ぶ楽しさを体験し、生涯にわたって学ぶことの大切さを自覚するため、学校と地域の双方に利点のある取り組みを通じて地域とともに生涯学習の推進を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① コミュニティスクールにより、地域の指導者やボランティアが積極的に総合学習や学校行事に関わります。 ② 学校情報を地域住民に発信・提供する取り組みを進めます。 ③ 地域と協働したカリキュラムの充実を図ります。 ④ 社会教育事業や社会教育施設と連携した取り組みを進めることによって、社会に開かれた教育課程が進むことを目指します。

8 町民に期待される役割

町民一人ひとり、生涯にわたる自由で自発的な学習活動によって自己を高め、その成果を地域に生かすことができ、次の役割が期待されます。

<p>期待される 役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 自ら学び、自ら行動することによって、自らの課題を自らの手で解決する力を高めます。 ② 社会の現代的課題を積極的に学習します。 ③ 自然や歴史をはじめ地域にかかわることを積極的に学びます。 ④ 学習成果を積極的に地域社会で生かします。 ⑤ 地域活動へ積極的に参加します。 ⑥ 移住者などの新しい風を受け入れる気風づくりを進めます。 ⑦ 互いに尊重し合い、ともに生き、ともに育つための人権意識を高めます。
---------------------	--

第5章 計画の体系表

【飯島町第5次総合計画 施策方針】

町民一人ひとりが学びや活動により自らの課題を自らの手で解決する力をつけ、その成果を地域社会に還元できる生涯学習の推進

【飯島町生涯学習推進計画】

基本理念

- ① 一人ひとりが、学びや活動によって自らの課題を自らの手で解決する力を高める生涯学習を進めます
- ② 学びや活動を支援する環境を整備します
- ③ 学習の成果が地域で生かされる町をつくります
- ④ 生涯学習によってふるさとへの愛着と誇りを育みます

基本目標と施策の展開

1 生涯学習推進体制の充実

- 生涯学習推進本部
- 生涯学習推進協議会(社会教育委員会議)
- 生涯学習センター

2 生涯学習関連施設・組織の連携

- 公民館を拠点とした地域活動の充実
- 地域における施設・機関の連携
- 地域団体・NPOなどとの連携
- 広域的な生涯学習機関との連携

3 学習情報提供と相談体制の整備

- 学習情報の発信と提供
- 学習相談体制の整備

4 人材の育成とグループ活動の支援

- 人材の育成
- 人材ネットワークの登録促進と活用
- グループ活動の支援

5 学習プログラム開発と学習メニューづくり

- 学習プログラム開発
- 学習メニューづくり

目指す5年後の姿

◎ 飯島町生涯学習センターが中心となって、全町的な生涯学習活動や講座が積極的に進められている

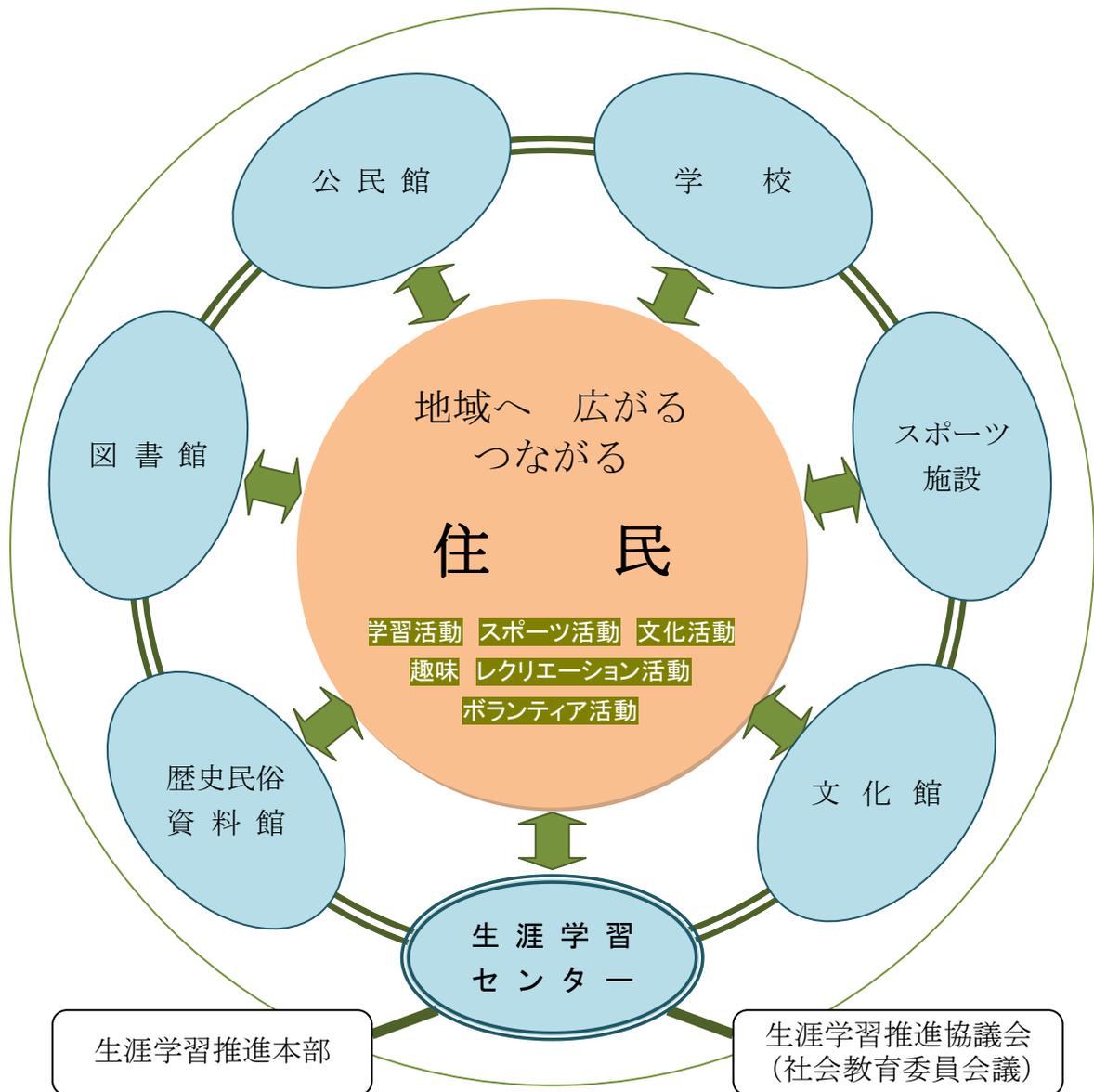
- ◎ 各公民館が活発に事業や講座を展開している
- ◎ 図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設などでの活動が充実している
- ◎ 各機関の連携が図られている

- ◎ 各機関が実施する生涯学習事業の情報が一元化されて提供されている
- ◎ 学習内容や指導者などを気軽に相談できる体制が整っている

- ◎ 指導者やボランティアの情報が整備され、活用されている
- ◎ 住民の自主的な活動や地域の生涯学習事業が多彩に開催されている

◎ 現代課題や地域課題を踏まえ、町民が学びたいと思う内容の講座が開催され、多くの受講者を集めている

飯島町の生涯学習



人を育むまちづくり

資 料 1

「飯島町生涯学習推進計画」策定経過

1 諮問と答申

- 平成 29 年 7 月 19 日、教育長より社会教育委員会議(生涯学習推進協議会)議長に諮問
- 平成 30 年 2 月 7 日、社会教育委員会議議長より教育長に答申

2 飯島町社会教育委員会議(生涯学習推進協議会)での検討経過

回(期日)	内 容
第 1 回 (6/14)	○スケジュールの確認
第 2 回 (7/19)	○教育長より社会教育委員会議へ諮問 ○生涯学習まちづくり計画パート4の検証
第 3 回 (9/20)	○素案の審議
第 4 回 (10/18)	○素案の審議
第 5 回 (11/13)	○議会との懇談
第 6 回 (12/13)	○計画案のまとめ
第 7 回 (2/7)	○計画の策定についてまとめ

3 住民意見の計画への反映経過

期 間	内 容
1/18~2/6 (20日間)	○パブリックコメントの実施

4 その他経過

計画決定	○定例教育委員会協議 (2/19) ○庁議 (2/21) ○3月議会(全員協議会) ○広報・周知
------	---

資 料 2

飯島町社会教育委員会議（飯島町生涯学習推進協議会）名簿

氏 名	選 出 区 分
◎ ほしの まさひろ 星野 政寛	知識経験者
○ きたばやし みずほ 北林 瑞穂	家庭教育の向上に資する活動を行う者
こうさか しげとみ 高坂 繁富	田切公民館長
ごとう たくみ 後藤 卓己	飯島小学校教頭
いとう あつし 伊藤 敦	スポーツ推進委員代表
みやわき まさこ 宮脇 正子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
たけだ あきら 武田 明	知識経験者
かたぎり いくえ 片桐 生恵	知識経験者
あらい まさお 新井 政夫	知識経験者

◎議長 ○副議長